受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

人文学部 教育学科
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
筆記試験	課題図書の内容の読解、要約、分析、論述の能力を問います。課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00〜10:45	100点
集団討論	少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題されるテーマについてお互いに意見を出し合いながら合意形成を図ります。課題図書の持ち込みは不可とします。	11:00〜12:00	70点
面接(個別)	課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。	13:30〜	30点

配点

筆記試験100点 ＋ 集団討論70点 ＋ 面接30点 ＝ 200点満点

選抜方法／筆記試験、集団討論、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2025年6月22日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書を熟読しましょう。

まずは課題図書の内容の理解に努める必要があります。その際、文章の構成を把握することを心がけてみましょう。目次や見出し、キーワードに着目し、節・段落ごとに内容をまとめ、それらを図示することが効果的です。

2 考えながら読みましょう。

筆記試験の論述問題や集団討論では論理的・教育学的な考えをもつ必要があります。自身で「問い」を立てて読むことを心がけてみましょう。図書の内容をすべてうのみにせずに、著者の考えを批評するという「著者と対話する」意識が重要です。

3 自身の考えを他者に伝える経験を積みましょう。

集団討論では合意形成(意見の一致)を図ります。その際、自身の意見をわかりやすく述べる必要があります。自身の考えを文字に起こすなどして推敲した上で他者に伝えて、フィードバックを受けてみましょう。

4 ディスカッションの経験を積みましょう。

集団討論では、他者の発言に耳を傾ける、質問する、意見をまとめるなど、合意形成を目指す言動が必要となります。また、議論の進行や多様な意見に合わせて自身の考えの中から適切な意見を選んで発言する必要もあります。授業や課外活動でこれらを心がけてみましょう。

出願資格

次の(1)〜(2)すべてに該当する者

(1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa〜dのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者で高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者で高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)

b. 出身学校調査書

c. 志望理由書(1,200字程度)
これまでに学業以外で特に関心を持って取り組んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。

d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注)a、cは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。